

第 7 回 岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

日 時	2020 年 9 月 23 日（水）10:30～12:00		
場 所	岡崎市役所 東庁舎 2 階 大会議室		
議事骨子	1. 開会 2. 議題 都市計画マスタープラン改定原案について 3. その他 都市計画マスタープラン改定に関するポスター展示について 今後のスケジュールについて 4. 閉会		
配付資料	・ 次第 ・ 都市計画マスタープラン原案 ・ 資料 1 策定委員会、愛知県、西三河建設事務所からの意見とその対応 ・ 資料 2 ポスター展示について ・ 資料 3 今後のスケジュール		
委員 ■出席 □欠席	13 名中 12 名出席		
	所 属	職 名	氏 名
	■名城大学	教授	松本 幸正
	■愛知産業大学大学院	教授	宇野 勇治
	■東海学園大学	名誉教授	宮崎 幸恵
	□岐阜工業高等専門学校	教授	鶴田 佳子
	■愛知県都市整備局都市基盤部都市計画課	課長	齊藤 保則
		（代）課長補佐	菅沼 克文
	■愛知県西三河建設事務所	企画調整監	杉山 謙
		（代）課長補佐	野口 実
	■岡崎商工会議所	女性部会長	稲垣 栄子
	■岡崎農業委員会	会長	羽根田 正志
	■NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた	事業企画マネージャー	天野 裕
	■NPO 法人 21 世紀を創る会・みかわ	専務理事	斎藤 眞澄
	■株式会社まちづくり岡崎	取締役事業統括本部長	長谷川 伸介
	■市民代表		片桐 政勝
	■市民代表		伊藤 佳子

1. 開会

事務局

只今より第 7 回策定委員会を始めさせていただきます。新型コロナウイルス感染症対策として、会議は概ね 1 時間を想定しています。ご理解・ご協力よろしくお願い致します。本日の会議につきましては、岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第 5 条第 2 項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されていますので会議が成立致しますことをご報告いたします。なお、策定委員会設置要綱第 5 条第 3 項の規定に基づき公開することとしておりますが、希望者がございませんでしたので傍聴者なしとさせていただきます。本日の日程につきましては、次第に沿って進めさせていただきたいと存じます。それでは以降の議事進行につきましては松本委員長にお願いいたします。

松本委員長 | <あいさつ>
只今から進行させていただきます。ご協力よろしくお願いします。

2. 議題

・都市計画マスタープラン改定原案について

※資料説明及び質疑応答

片桐委員	コラムをつけてわかりやすくなったがもう少し大きな字で書いた方がよいかと。
松本委員長 事務局	大きくしてください。フォントを変えているため小さく見えるのかもしれない。 大きくするかフォント変えるか検討します。
宇野委員 事務局	コラムの位置づけは、情報提供なのかマスタープランとして施策の一部なのか。 2つ思いがあります。市が取り組む事業の紹介の目的と施策の補足の目的です。
松本委員長 事務局	一点目は紹介、二点目は施策ということか。 マスタープランにある施策や取組みに対する補足です。
松本委員長 事務局	名称はコラムでよいかと思う。目次にコラム一覧があってもいいかもしれない。 目次にコラム一覧を追加します。
斉藤委員	2-24 広域道路網について、項目で「促進」、「推進」が多いが、開かずの踏切についての み「整備手法の検討」となっているが、これは促進より一歩踏み込むのか、促進の手前 と解釈するのか。
事務局	鉄道事業者や道路管理者の協議会で施策・取組を考えていますので、このような表現に なっています。 「促進」は市から関係機関にお願いして進めていくもの、「推進」は市が取組むもの に対して使っております。「検討」は先ほどの場合やトーンを抑えたいものに対して使っ ております。
松本委員長 事務局	一歩控えた表現ということです。では、「道路空間の整備促進します」はどうか。 管理が市、国、県であったりなのでこの表現としております。
菅沼委員 事務局	指標の中で、具体的な数字が示しきれない部分があるのか。 「～に基づく」という指標は現在作成中です。
松本委員長 事務局	パブコメ段階では注記で補足があってもいいのではないかと。 策定までに数字が入る予定です。
松本委員長	市民意識調査の回答割合は市の意気込みかなと思う。この割合を使っている項目の中 で、都市の魅力に対する満足度のみが低めの数値で横ばいだが、これは市の意気込みと して、難しいのかな、という感じなのか。
事務局	過去の市民意識調査を確認すると横ばいが続いていて、市での取組の中でもそのような 現状なので、少しでも都市マスの取組で上がればいいという思いで指標を設定しまし た。
松本委員長	意気込みでせめて 2025-2030 で 1 ポイントあげませんか。岡崎市は今頑張っているのに 魅力の指標が横ばいなのは事務局としては控えめすぎる。
事務局	22 に上げます。

長谷川委員	目標値に設定している項目で、1章で示されていないものもある。掲載できるグラフ等があるのであれば1章に載せるか、引用先として1章の記述をするといいいのでは。
事務局	指標の元となる数値の推移があった方がわかりやすいと思いますので対応します。
片桐委員	市民意識調査の回答割合の数字が本来はもっと高いのではないかな。
事務局	設問が異なるため、居住意向と都市の魅力の割合に差がある結果となっています。
片桐委員	20%という数字のイメージが低いと感ずるので、表し方の問題かと思う。
松本委員長	確かに低く感ずるが、事実としてこの指標を使いましょう。ただ「都市」の魅力に対する満足度という、低くなってしまうのかもしれないがこれから高めていくということになる。数字はこのままでいきましょう。
齊藤委員	製造品出荷額の目標値について、伸び率が極端に大きい。
事務局	10年間で8千億の伸びを参考にして、産業フレームの数字も元に計算して数字を設定しました。
齊藤委員	P1-6ではここ10年くらいで2千億ぐらいしか伸びていない。
松本委員長	2009ベースに考えているのか。 工業統計ベースでなく土地利用ベースでみて、今後工業系土地利用が増えていくことを想定して計算するとこのような数字になるということですね。
事務局	バックデータを再度精査いたします。
野口委員	地域別構想で、自転車ネットワークの記述があるところとそうでないところがある。市の計画はどのようになっているのか。
事務局	自転車通行空間のネットワークについて市で計画策定中です。今後10年で取り組む路線がある地域については記載しています。
松本委員長	市全域を一気に整備するのは難しいため、駅や高校へのアクセスの順番に整備していくということかと思う。
稲垣委員	今後アンケートの文言に注意が必要だと思う。
松本委員長	必要に応じて検討しましょう。
稲垣委員	文化施設が周辺地域より控えめな印象。
松本委員長	確かに文化施設が少ない。立地適正化計画のほうで誘導を進めていくのか。
事務局	広域的な交流を生む施設の誘導を計画しています。
松本委員長	岡崎は文化が元々あるので施設を作っていないのかもしれない。
天野委員	都市マスが市民などに読まれるシチュエーションのイメージをもっと具体的に示してはどうか。市民が関わるハードルを低くして地域別の構想を読んでもらえるといいいのでは。
松本委員長	市民にどうやって伝えるかが重要だと思う。
事務局	内容を絞って言葉も容易にしてパネル展示を行いました。市民の方からも好評いただきましたので、このような内容をまとめるといいいのかと考えております。
松本委員長	これからの都市計画は市民と進めることが重要。概要版やポスターも作っていきながら、市民への適切な情報提供が大事。
長谷川委員	市民は自分に関係する箇所しか見ないと思う。例えば指標4-7でいうと、イベントを行

	う立場の市民からすると、自分のやりたいことプラス市としてこういう交流を生み出したいです、というような方向性があれば、民間の人たちに公的な意味合いを持ってもらえる。マスタープランという市の方向性があるって自分の活動がここにはまるのね、ということ、資料で表すというより行政が各事業各担当で市の意図や一緒にやろうという姿勢を入れ込むことで示した方がいいのでは。
松本委員長	各計画にもとづくものは行政のバックアップのもとで推進される体制になっている。都市計画ではそれを支援するかたちになっているので、その点では大丈夫だと思う。
長谷川委員	中心市街地の回遊性の向上についてだが、文化以外にも商業も必要だと思う。エリアは岡崎城から八丁蔵通りだけでなく、もっと広く設定して中心市街地全体の人の動きをつくれないものかと。
事務局	担当部署と調整してできるだけ反映できるようにいたします。
松本委員長	今も案内板は結構設置してあるが、もう少し中心市街地全体の案内がされるようになるといい。商業は確かに重要なので、そのあたりの記述もお願いしたい。
宇野委員	地域ごとの目標値の設定をしたりそれをインデックスにするのもいいのではないか。例えば市民意向の「魅力・活気」でいうと、地域ごとにばらつきがあるので、全体の指標だけでいいのか。
事務局	地域ごとに目標設定をすると指標が多くなるので、本編で指標をセットするというよりも施策チェックにあわせて PDCA の見直しをする中で地域ごとの満足度などをチェックできればと思います。
宇野委員	プラスに転じていくような何かをチェックするものがあるといいのかと。
松本委員長	地域によってはよくなる部分もあればそうでない部分もあるというのはやむ得ないことだと思うがチェックは必要である。目標値の設定は難しいだろうが、必要な項目については、たとえば、「地区ごとの評価指標を確認しながら」定期的に評価します、というふうにはいかがか。
事務局	地域ごとの現況把握はチェック可能ですので、今後、運用の仕組みとしてチェックしていきます。
宇野委員	たとえば地域ごとのコラムやトピックがあると、読むきっかけになると思う。
松本委員長	いいご提案です。
事務局	都市計画の観点で地域ごとのコラムの作成についても検討しましたが、その結果現在のまとめ方になっています。
天野委員	①事業者の役割は、企業活動を通じた社会貢献や公民連携の取組みがどちらというより関心に近いのではないかと。 ②アンケートは自分の地域を評価したものか。項目によって母数が全然違うのは、無回答が多いからなのか。
事務局	①記載を改めます。 ②表現についてパブコメまでに改善したい。
松本委員長	アンケート結果の表し方は 1-19 が正しいのでこのように修正をお願いします。
伊藤委員	4-7、4-6 の市民意識調査の内容が漠然としているので説明があるといいのでは。

事務局	1-19 現況と課題にて調査の内容を説明しています。市全域対象にした郵送による無作為の調査です。
松本委員長	方法は郵送ということと、※での注釈を書くといいのかもしれない。 たくさんご意見をありがとうございました。いただいた意見を参考に修正いただいてパブコメに入っていくということをお願いします。

3. 報告

- ・都市計画マスタープラン改定に関するポスター展示について
- ・今後のスケジュールについて

※資料説明及び質疑応答

→質疑応答なし

4. 閉会

事務局	次回の委員会の詳細な日程は改めて連絡いたします。これにて第7回策定委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。
-----	--

以上